



Japan Foundation for  
Regional Art-Activities

# 地域創造レター

6月号—No.373  
2026.5.25  
(毎月1回25日発行)

News Letter to Arts Crew

【乾鮭色(からさけいろ)】乾燥した鮭の身のようなオレンジがかった桃色。

元漁師の新米坊主が魚の名前をもじって説教する狂言『魚説教』から生まれた色名。鯛も鯖も色名にはなっていないが、魚説教で「すすけたる黒鯛の衣に乾鮭色の袈裟を着し」とされたことから鮭が色名になった(鮭色という色名もあるが、こちらはサーモンピンクの和名)。

## ●目次 / contents

### 今月のニュース..... 2

令和8年度「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」全体研修会報告

### 財団からのお知らせ..... 4

地域創造フェスティバル2026開催のお知らせ / 令和8年度「地域創造大賞(総務大臣賞)」募集開始時期について / 令和7年度事業報告書ホームページ公開のお知らせ / 公式YouTubeチャンネルのお知らせ / 「公共ホール音楽・現代ダンス活性化障がい者関連事業」令和9年度実施団体募集・令和8年度全体研修会報告 / 令和9・10年度「公共ホール創造ネットワーク事業」実施団体募集 / SNS開設・情報発信媒体のお知らせ / 令和8年度「公共ホール音楽活性化支援・市町村連携事業」全体研修会報告 / 令和8年度「市町村長特別セミナー」報告

### 今月の情報..... 8

地域通信

### 今月のレポート..... 12

熊本市 熊本市現代美術館

「秀島由己男展 ダークファンタジー / ミステリアス 水俣が生んだ異才」

●令和8年度「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」全体研修会

# 2年目の登録アーティストが工夫を凝らしたプレゼンを披露

令和8年度  
公共ホール  
音楽活性化事業  
全体研修会

2026年4月20日～22日



公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)では、実施館の担当者、コーディネーターや登録アーティストなどが一堂に会する全体研修会を実施しています。今年度は4月20日～22日に開催し、21日には2025・2026年度登録アーティスト5名がTOPPANホールで公開プレゼンテーション(各25分)を行いました。

## ●みんなが学びあう研修会

研修は、地域創造のリージョナルシアター事業派遣アーティストでおんかつコーディネーターも務める演出家の多田淳之介さんによるワークショップでスタートしました。今年度の事業を実施する全国12館の担当者に加え、コーディネーターなど、おんかつを支える関係者が初めて顔を合わせ、シアターゲームで楽しく交流しました。

グループワークでは、事前課題として各担当者に提出いただいた地域資源シートを元に、コーディネーターも交えてアクティビティ先の選定やコンサートのコンセプトの検討等も行いました。

2日目には、事例紹介と2年目となる登録アーティストによる公開プレゼンテーションが行わ

れました。事例紹介では、事業担当者の立場から令和5年度に実施した荘銀タクト鶴岡の増子そらのさん(タクトつるおか共同企業体)と、令和6年度に実施した飯山市文化交流館なちゅらの佐藤恭史さん(飯山市教育委員会文化交流課)からお話を伺いました。いずれもモデトロ・サクソフォン・アンサンブルと事業を進めましたが、地域や担当者によって企画や内容もそれぞれで、質疑応答の時間では多くの質問が投げかけられました。

2018年に開館したタクトと16年に開館したなちゅらは、世界的な建築家が設計したユニークな建築として知られています。鶴岡城跡の公園に隣接し、ガラス張りで開放的な前者はSANAA(妹島和世+西沢立衛)、北陸新幹線飯山駅前に立地し、地元木材を外壁・内装にふんだんに使用した後者は隈研吾の設計です。両者とも後発の公立文化施設として、開かれた交流ができる空間設計に特徴があります。

タクトでは、おんかつを通じてこれまでホールと関わりのなかった地域の多様なコミュニティに働きかけることを目指し、認定こども園、小学校、高等学校吹奏楽部へのアウトリーチを行いました。また、ホールの人気企画である

写真

左上: 多田淳之介さんのワークショップ

右上: グループワーク

左下: 登録アーティストプレゼンテーション(鈴木舞さん)

右下: 登録アーティストプレゼンテーション(小野寺光さん)

●2025・2026年度公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト

- 三原未紗子(ピアノ)
- 鈴木舞(ヴァイオリン)
- 北垣彩(チェロ)
- 山崎由貴(ユーフォニアム)
- 小野寺光(バス・バリトン)

●公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)に関する問い合わせ  
芸術環境部 金山・中嶋  
Tel. 03-5573-4168

## ▼ 今月のニュース

地域創造からのニュースを毎月掲載します

ワンコインコンサートシリーズとして、障害のある人も楽しめる鑑賞サポート付きで派遣アーティストの演奏会を実施しました。観客数がシリーズ最多の448人となるなど、確かな手応えを感じた取り組みとなりました。

また、なちゅらでは、飯山市が掲げる「未来を拓く子どもたちが育つ共育のまち」の事業として位置付け、市内の小中学生に「おでかけなちゅら」と題したアウトリーチを実施しました。学校での芸術鑑賞の機会が少なくなっていることを踏まえ、佐藤さんがこだわったのがホールでの演奏会に市内2校の全中学生を招待することです。「演奏家、コーディネーターと検討を重ね、幅広い曲目構成、振り付きの演奏や照明演出で音楽の楽しさを伝えるコンサートになった」と振り返っていました。

### ● 初年度の経験を交えてプレゼン

トップバッターの鈴木舞さん(ヴァイオリン)は、昨年と同様に貸与を受けている1682年製の銘器「グランド・アマティ」(\*)を携えて登場しました。「低音の響き、高音の響きを聴き比べて」とご自身の楽器との弾き比べを行うと、その音色、響きの違いに客席の集中力は一気に高まりました。対話型芸術鑑賞法の有資格者としての的確なトークにも磨きがかかり、『チャルダッシュ』の生命力溢れる演奏など、客席を魅了していました。

昨年度5カ所でおんかつを行ったという山崎由貴さん(ユーフォニアム)は、5キロはあるという楽器を背負ったお馴染みのスタイルで登場しました。「ユーフォニアムはギリシャ語で心地よいという意味。この楽器の音色の魅力を知ってほしい」と演奏。3.5メートルのホースにジョウゴとマウスピースを付けた手作り楽器でのパフォーマンスも披露しました。

北垣彩さん(チェロ)は、昨年度のおんかつでホール担当者からリクエストされたガーシュイン『プレリュード』やピアソラ『リベルタンゴ』などを披露。「4歳のときに出会ったチェロは辛い時も自分を内側から照らし続けてくれる存在」と言い、アウトリーチで必ず行っている子ども

用チェロを触って響きを体験するアクティビティも行いました。

小野寺光さん(バス・バリトン)は「オペラは登場人物が歌いながらお芝居をするもの」と解説し、舞台上の衝立の裏で衣裳を早着替えしながら『魔笛』のパパゲーノをはじめ3役を豊かな声量で演じました。「Viva!」「Bravo!」と書かれたフリップを使用し、観客が声を出す参加型のシーンもあり、オペラを身近に感じられる工夫も凝らされていました。

ラストを締め括ったのが、学校の上履き姿で登場した三原未紗子さん(ピアノ)です。「アウトリーチでは子どもたちと仲良く楽しむ時間を大切にしている。ピアノという楽器、音楽の表情の違い、作曲家が伝えたかったことを伝えたい」と話し、『月の光』『小犬のワルツ』『猫のワルツ』などを披露しました。

● 令和8年度公共ホール音楽活性化事業参加団体一覧(全12団体)

- 宮城県白石市(ホワイトキューブ大林組コンサートホール)
- 宮城県蔵王町(蔵王町ふるさと文化会館)
- 神奈川県寒川町(寒川町民センター)
- 山梨県富士川町(はくばく文化ホール)
- 岐阜県大垣市(日本昭和音楽村 江口夜詩記念館 水鏡湖ホール)
- 愛知県大府市(おおぶ文化交流の杜 allouba こもればいホール)
- 京都府宇治市(宇治市文化会館)
- 京都府久御山町(久御山町全世代・全員活躍まちづくりセンター)
- 大阪府泉南市(泉南市立文化ホール)
- 広島県廿日市市(さいき文化ホール)
- 香川県丸亀市(丸亀市民会館[シアターマド])
- 宮崎県宮崎市(宮崎市民文化ホール)

\*ニコロ・アマティが製作したストラディバリウスに並ぶヴァイオリンの銘器。

### ● 令和8年度公共ホール音楽活性化事業全体研修会スケジュール

	4月20日(月) 地域創造会議室	4月21日(火) 地域創造会議室/ TOPPANホール	4月22日(水) 地域創造会議室
10:00		「事例紹介～鶴岡市」 増子そらの(鶴岡市)、赤木舞	「グループ別企画検討」 赤木舞、菊地俊孝、桜井しおり、佐藤良子、多田淳之介、三浦幸恵、仕田佳経
11:00		「事例紹介～飯山市」 佐藤恭史(飯山市)、菊地俊孝	
12:00			
13:00	開講式/オリエンテーション	「グループワーク～地域資源の掘り起こし②～」 赤木舞、菊地俊孝、桜井しおり、多田淳之介、三浦幸恵、仕田佳経	「グループ内発表」 赤木舞、菊地俊孝、桜井しおり、佐藤良子、多田淳之介、三浦幸恵、仕田佳経
14:00	「ワークショップ」 多田淳之介		「全体フィードバック」
15:00		2025・2026年度登録アーティスト公開プレゼンテーション(出演順) ●鈴木舞(ヴァイオリン) ●山崎由貴(ユーフォニアム) ●北垣彩(チェロ) ●小野寺光(バス・バリトン) ●三原未紗子(ピアノ)	事務連絡/閉講式
16:00	「“おんかつ”とは」 仕田佳経		
17:00	事業概要・実務説明		
18:00	「グループワーク～今日のゼミを振り返って・地域資源の掘り起こし①～」 菊地俊孝、桜井しおり、佐藤良子、多田淳之介、三浦幸恵、仕田佳経	交流会	
19:00			

## 財団からのお知らせ

### ●地域創造フェスティバル2026開催のお知らせ

地域創造が取り組んでいる事業を紹介し、公共ホールや地方公共団体が事業を企画・実施する上で参考になる情報を提供することを目的に、「地域創造フェスティバル2026」を開催します。今年度は2日間の日程で、東京芸術劇場にて行います。

地域創造の登録アーティストや、全国各地の公共ホールや地方公共団体の文化担当の方々が多数来場されますので、ネットワークづくりや情報交換の場としてもご活用いただけます。ぜひご参加ください。

出演者情報等のプログラム詳細および参加者募集につきましては、次号(7月号)でご案内します。

#### ●地域創造フェスティバル2026概要

【日程】7月28日(火)、29日(水)

【会場】東京芸術劇場(豊島区西池袋1-8-1)

【プログラム】

- 「公立文化施設における政策評価等のあり方」(令和7年度調査研究事業)に関するシンポジウム
- 公共ホール音楽活性化支援事業(おんかつ支援)のプレゼンテーション
- 公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)のプレゼンテーション
- 助成事業に関する説明会
- 事業(おんかつ・邦楽・ダン活・リージョナル・美活・助成)に関する個別相談会
- 情報交換会

【同時開催】

都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議

### ●令和8年度地域創造大賞(総務大臣賞)募集開始時期について

地域創造大賞(総務大臣賞)は、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰し、全国に広く周知することにより、公立文化施設のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的としています。平成16年度から令和7年度までの22年間で153施設が受賞しました。

実施要領・応募書については、後日当財団ホームページに掲載する予定です。ご応募をお待ちしています。

### ●令和7年度事業報告書 ホームページ公開のお知らせ

令和7年度の各事業報告書を当財団ホームページで今後随時公開予定です(PDF版を閲覧・ダウンロード可能です)。

「財団のご案内」→「事業報告書・事業計画書等」  
<https://www.jafra.or.jp/about/report.html>

地域創造が運営しているホームページは、地域の文化・芸術に関する情報をより広く提供することを目的に、当財団の概要・事業紹介のほか、地域創造レターや調査研究報告書を掲載し、地域の最新の動向・活動等をお伝えしています。また各事業の実施要綱や申請書、様式をダウンロードすることもできます。

地域における文化・芸術活動の情報収集、公立文化施設の活性化や芸術環境づくりにぜひご活用ください。

### ●公式YouTubeチャンネルのお知らせ

地域創造では、各地で実施した事業の様子について映像で公開しています。準備段階の様子から、公演やアウトリーチワークショップの様子、そして関係者のインタビューなどで、事業の流れやポイントをまとめています。今後の事業のご参考に、ぜひご覧ください。

[https://www.youtube.com/channel/UCQzyG0gkEMVvdjkLVPh4r\\_A](https://www.youtube.com/channel/UCQzyG0gkEMVvdjkLVPh4r_A)



新たに2つの動画を公開しました。

- 令和7・8年度「公共ホール創造ネットワークモデル事業」1年目の取り組み

…詳細はP6参照

- 令和7・8年度「市町村立美術館活性化事業」準備年度の取り組み

…2カ年計画で実施する巡回展の準備の様子や、参加美術館、収蔵品貸出協力館の担当者のインタビューなどをご覧ください。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLYZCIJ3IEts28cJrb5tN-J2GOI1UOaxfd>



●地域創造フェスティバルに関する問い合わせ

芸術環境部 児島  
Tel. 03-5573-4183

●地域創造大賞(総務大臣賞)に関する問い合わせ

総務部 黒田・山田  
Tel. 03-5573-4184  
taishou@jafra.or.jp

## ▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

### ●令和9年度「公共ホール音楽・現代ダンス活性化障がい者関連事業」実施団体募集

この事業は、おんかつや邦楽事業、またはダン活事業の実施団体を対象として、特別支援学校や障害者施設等でアウトリーチによる地域交流プログラムを実施するものです。障

がい者を対象とした事業に係る公共ホール職員の企画・制作能力の向上と創造性豊かな地域づくりに資することを目的としています。また、長期的なビジョンをもって事業を実施できるよう、最大3カ年まで実施可能です。

**募集締切：2026年6月30日(火) 必着**

#### ◎対象団体

①原則として令和7年度までの10年以内に、おんかつ・おんかつ支援・邦楽事業のいずれかを実施、または令和8年度までに公共ホール音楽・現代ダンス活性化障がい者関連事業(音楽分野)を実施した市町村等(特別区を含み、政令指定都市を除く)。

②原則として令和7年度までの10年以内に、ダン活(平成29年度以降はダン活AプログラムおよびBプログラム、またはAプログラムおよびCプログラム)・ダン活支援のいずれかを実施、または令和8年度までに公共ホール音楽・現代ダンス活性化障がい者関連事業(ダンス分野)を実施した市町村等(特別区を含み、政令指定都市を除く)。

#### ◎事業内容

4日間以内の日程を1回または2回に分け、障害者

施設等においてアウトリーチによる地域交流プログラムを4～8回実施。コーディネーターおよびアーティストとともに現地見学(個別研修)を実施(2回まで可能)。なお、①に該当する団体は音楽分野(クラシック音楽、邦楽)、②に該当する団体はダンス分野(現代ダンス)に係る事業を実施。

#### ◎支援内容

●全体研修会(事業実施に必要なノウハウ等の研修)の開催

●コーディネーターの派遣

●アーティストの派遣経費(謝金、現地移動費を除く交通費、宿泊費、日当、損害保険料)

●地域交流プログラムに係る経費(ピアノ調律料、楽器運搬費、手話通訳謝金など：20万円限度)

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

●公共ホール音楽・現代ダンス活性化障がい者関連事業

◎実施要綱・申込書はホームページ内からダウンロードできます。

<https://www.jafra.or.jp/project/common/01.html>

◎令和8年度実施団体(5団体)/アーティスト

●三重県伊賀市/新野将之(パーカッション)

●和歌山県上富田町/大森智子(ソプラノ)

●岡山県倉敷市/野尻小矢佳(パーカッション)

●沖縄県名護市/棚原健太(歌三線)

●山形県鶴岡市/セレノグラフィカ(隅地菜歩+阿比留修一)

◎問い合わせ

芸術環境部 垂水・波多野

Tel. 03-5573-4076

project@jafra.or.jp

### ●令和8年度「公共ホール音楽・現代ダンス活性化障がい者関連事業」全体研修会報告

令和7年度からスタートした障がい者関連事業。この事業は、これまでにおんかつ、ダン活、邦楽事業を実施してきた団体が、蓄積したノウハウを活かし、特別支援学校や障害者施設等を対象にアウトリーチを実施するものです。2年目となる今年度は、5団体の事業担当者、アーティスト、コーディネーターが集まり、4月13日(月)、14日(火)の2日間にわたって全体研修会を開催しました。

初日は、「障がいのある人と“一緒に作る”について考える」をテーマに、コーディネーターの佐藤拓道さん(たんぼぼの家アートセンターHANA副施設長)によるレクチャーが行われ、HANAでの演劇プログラムをご紹介いただきました。メンバーの経験談を基にした作品創作などユニークな取り組みが共有され、困難に直面した際のアプローチや、現場で継続的にフィードバックを行うことの重要性についてお話いただきました。

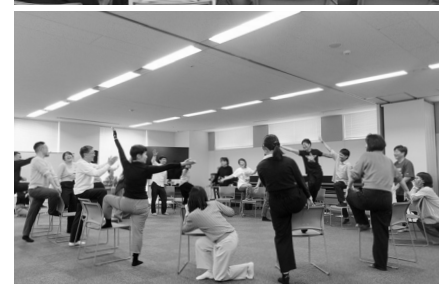
続いて、セレノグラフィカの隅地菜歩さんによるダンス・ワークショップを体験しました。リズムに合わせて歩いたり、肘や頭など

身体の一部で壁を触ってみたり。参加者は思い思いに身体を動かし、表現することの楽しさを味わいました。最後は、車椅子ユーザーの方も一緒に楽しめるよう、座ったままできる隅地さんのワークを堪能しました。

ワークショップ後には、コーディネーターやアーティスト、実施団体によるディスカッションが行われました。この事業を通じて各地域で目指したいビジョンや昨年度の事例を共有しながら、今年度の事業に向けた課題について全体で話し合いました。一過性にとどまらない取り組みの重要性や、当事者との向き合い方についても議論が深められ、今後の事業の方向性を模索する時間となりました。

初日の後半からは、各地域の状況や課題を元に意見交換を行い、事業実施に向けた具体的な検討が進められました。2日目の最後には各グループが経過を発表し、参加者同士の情報共有と相互理解が深まり、今後の事業に向けた方向性の確認と土台づくりが進められました。

今後、各地域でどのような取り組みが展開され、担当者がどのようにその舵取りをしていくのか、その動向にぜひご注目ください。



上：佐藤拓道さんのレクチャー

下：隅地菜歩さんのワークショップ

## 財団からのお知らせ

### ●令和9・10年度「公共ホール創造ネットワーク事業」実施団体募集

公共ホール創造ネットワーク事業は、都道府県内の公共ホール間の連携の促進、公共ホール職員等の企画制作能力の向上を図ること等を目的に、都道府県が中心となって、市町村と連携して、クラシック音楽、現代ダンスおよび演劇から複数ジャンルを取り入れた地域交流プログラム並びに作品制作および公演を実施するものです。

1年目には、都道府県内の公共ホール職員、アーティスト等を対象とする地域交流プログラムや文化・芸術による地域づくりに関する全体研修会を実施するとともに、アウトリーチで実施するプログラムづくりを行い、学校、福祉施設等において、アウトリーチによる地域交流プログラムを実施します。

2年目には、複数ジャンルを取り入れた作品を制作し、公演に関連した地域交流プログラムを実施するとともに、都道府県および市町村のホールにおいて公演を行います。

この事業では、都道府県と市町村の公共



栗ガ丘小学校の児童を対象にしたアウトリーチ  
(令和7年度/小布施町北斎ホール)

●公共ホール創造ネットワーク事業に関する問い合わせ

芸術環境部 栗林・渡邊

Tel. 03-5573-4067

※実施要綱・申込書は当財団ホームページでお知らせします。

●公共ホール音楽活性化支援・市町村連携事業に関する問い合わせ

芸術環境部 山下・保谷

Tel. 03-5573-4143

●市町村長特別セミナーに関する問い合わせ

芸術環境部 中嶋・山下

Tel. 03-5573-4064

ホール職員等が企画制作段階から関わることで、企画制作能力の向上とともに、公共ホール間の連携の強化が期待されます。この事業に取り組んでみたい皆様のご応募をお待ちしています。

募集締切：2026年7月31日(金)必着

#### ◎対象団体

- ①都道府県
- ②都道府県の公共ホールの指定管理者 など

#### ◎事業内容

[アウトリーチ事業]

地域交流プログラムや文化・芸術による地域づくりに関する全体研修会、アウトリーチで実施するプログラムづくり、アウトリーチによる地域交流プログラムの実施

[作品創造事業]

複数ジャンルを取り入れた作品制作、制作した作品の公演、公演に関連した地域交流プログラムの実施

#### ◎経費負担・支援内容

- 対象経費の3分の2以内で地域創造が負担
- コーディネーター等の派遣

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

地域創造公式YouTubeチャンネルで令和7・8年度「公共ホール創造ネットワークモデル事業」長野県の取り組みを配信中!

2カ年事業の1年目に実施したアウトリーチについて、準備段階から本番の様子までを、関係者のインタビューとともに収録しています。ぜひご覧ください。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLYZCIJ3IETs2achj7QpxBgXKrEB0lb8je>



### ●SNS開設・情報発信媒体のお知らせ

地域創造では、Facebookに加えて、新たにInstagram、Xを開設しました。文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりに関する情報をお届けします。皆様のフォローをお待ちしています。

●Instagram: @JAFRA\_chiikisouzou



●X: @JAFRA\_1994



●Facebook: @RegionalArtActivities



## ▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

### ●令和8年度「公共ホール音楽活性化支援・市町村連携事業」全体研修会報告

地域創造では、おんかつ・邦楽事業の実施団体を対象に、他の市町村の公共ホールと連携した事業の実施により公共ホール間の連携を考え学ぶ機会の確保や、公共ホール職員間の企画・制作能力の向上と創造性豊かな地域づくりを資することを目的とした「公共ホール音楽活性化支援・市町村連携事業」を昨年度より実施しています。

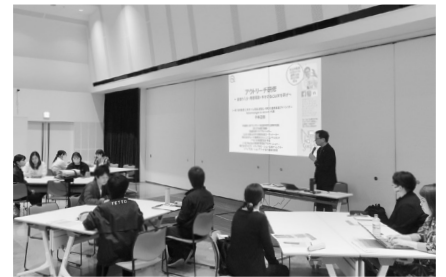
令和8年度の実施団体は釜石市、北上市、一関市、奥州市(前沢)、奥州市(胆沢)、西和賀町の6団体で、昨年に引き続き岩手県内1地域での実施に、今年度は1団体が増えた形となっています。それぞれの市町でアウトリーチを行い、釜石市にて公演を共同で実施します。

5月9日に幹事団体である釜石市の釜石市民ホールTETTOで実施した全体研修会では、市町村連携事業実施団体である6団体の担当者のほか、岩手県内公立文化ホール等の事業担当者が集まりました。今年度

本事業のアドバイザーを委嘱している元茨城県小美玉市職員(四季文化館みの〜れ等を担当)でNakamasagas(なかまさがす)代表の中本正樹さん、公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティストで昨年に引き続き本事業参加アーティストでもあるパーカッションの野尻小矢佳さんを講師に迎え、講義やグループトーク、ワークショップが行われました。

全体研修会前半の中本さんによる講義では、アウトリーチが地域の未来に何をもたらすのか改めて考え言語化することや、ホール職員の役割を伝えるとともに、特別支援学校等へのアウトリーチの打ち合わせで押さえるべきポイントの説明もありました。後半の野尻さんによるワークショップを含めた講義では、演奏家がアウトリーチの準備段階でしていることやホール職員に期待していることが伝えられ、これからの事業に繋がる研修会となりました。

事業は7月～9月にかけて実施される予定です。



講義の様子(上:中本正樹さん/下:野尻小矢佳さん)

### ●令和8年度「市町村長特別セミナー」報告

地域創造では、文化・芸術による地域づくりへの理解を深めていただくため、全国の市町村長を対象とする「市町村長特別セミナー」を実施しています。4月23日に、市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)との共催により、文化・芸術による地域づくりについての講義とおんかつ支援登録アーティストによるミニコンサートを実施しました。

講義は、元長崎市長で長崎地域力研究会代表の田上富久さんを講師に迎え、16年間の長崎市長の経験を踏まえた話題を中心に、「ひとの文化、まちの文化、社会の文化」と題し、お話をいただきました。田上さんは判断のポイントとして、「長期的にみる」「多面的にみる」「本質をみる」ことを大切にされており、「長崎さるく博」や交流により栄えた長崎の歴史を踏まえた交流都市ビジョンなどの例を取り上げながら、解説をいただきました。逆に、短期的には結果が出ず、成果が数字では表せない、目に見えない価値をもつ「文化」について、この3つのポイントを踏まえて表していくことで可視化することができるのではないか、という点などもお

話いただきました。

文化がなければ、人はただの“役割”に、まちはただの“場所”に、社会はただの“仕組み”となってしまふ、文化はひとがその人であるために必要なものであるという、まちづくりにとっても大切な視点をご講義いただきました。

講義に続いて、地域創造おんかつ支援登録アーティストのチェリスト・奥田なな子さんによる模擬アウトリーチコンサートを行いました。目の前で繰り広げられるチェロやピアノの演奏の迫力に、参加者は圧倒されるとともに、実際に子どもたちに向けて実施しているアウトリーチの雰囲気を、プログラムを通して間近に感じていただくことができました。

なかでも、紙コップで即席楽器をつくり、全員で共演するコーナーでは、奥田さんの解説に合わせ、弦楽器の奏法・ピツィカート体験していただきました。音楽の中の強弱を付けたり、ピアノの伴奏を聞くところはきちんと聞いたりなど、音楽を演奏する上で大切な点も、全身を使って感じていただくことができたのではないのでしょうか。

最後は、アウトリーチにおいて奥田さんが大切にしている子どもたちへの想いなどもお話しいただき、「おんかつ」の魅力を存分に感じていただくことができました。



上:田上富久さんによる講義/下:奥田なな子さん(チェロ)、ゴウ芽里沙さん(ピアノ)によるミニコンサート

## 地域通信

●掲載情報について  
最新の情報は主催者の発表情報をご確認ください。

●データの見方  
情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示してあるのは開催地です。📍マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介します。

●地域ブロック  
[北海道・東北]北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島  
[関東]茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川  
[北陸・中部]新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知  
[近畿]三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山  
[中国・四国]鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知  
[九州・沖縄]福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

●情報提供先  
ファックス、電話、e-mailでお願いします。  
Fax. 03-5573-4060 Tel. 03-5573-4093  
letter@jafra.or.jp  
芸術環境部 岩下・益子

●2026年8月号情報締切  
6月19日(金)

●2026年8月号掲載対象情報  
2026年8月～10月に開催もしくは募集されるもの

### 北海道・東北

#### ●北海道深川市

NPO法人深川市舞台芸術交流協会

〒074-0005 深川市5条7-20

Tel. 0164-23-0320 三ツ井

<https://fukagawa-mirai.com>

#### 第8回 和太鼓でいっ! in深川

深川市内や近隣の団体による和太鼓の競演。担い手の減少が課題の伝統芸能を、ホールが架け橋となって地域の団体とともに盛り上げている。8年目の今回は、団体ごとの演奏、他団体とのコラボ演奏、全員での合同合奏とバラエティーに富んだ内容。申し込み不要の体験コーナーもあり、老若男女問わず誰もが参加可能。太鼓の魅力を存分に楽しめる。

[日程]6月28日

[会場]深川市文化交流ホール

み・らい



昨年の様子

#### ●岩手県盛岡市

盛岡市文化振興事業団

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1

Tel. 019-621-5151 藤澤

<https://www.mfca.jp/kyarahall/>

#### 古野光昭プロデュース

「フルノーツ・プロジェクト」

with ユッコ・ミラー

#### SPECIAL JAZZ CONCERT

日本を代表するジャズベーシスト・古野光昭がプロデュースするジャズコンサート。「誰もが楽しめるジャズ」を掲げ、豪華なゲストを迎えて開催している。今回は多方面で活躍する人気サックス奏者のユッコ・ミラーを招聘。

多岐にわたるジャンルの楽曲をジャズにアレンジするほか、オリジナル曲も演奏し、初心者からファンまで満足できる構成となっている。

[日程]6月13日

[会場]キャラホール

#### ●秋田県秋田市

秋田市立千秋美術館

〒010-0001 秋田市中通2-3-8

Tel. 018-836-7860 米山

<https://www.city.akita.lg.jp/kanko/kanrenshisetsu/1003643/index.html>

#### tupera tuperaの

#### キニナルアニマル 絵本原画展

動物を切り口にした亀山達矢と中川敦子によるアートユニット tupera tupera (ツペラ ツペラ) のユーモアあふれる絵本の原画展。絵は主に「貼り絵」の手法で制作され、原画では絵本だけではわからない、さまざまな素材の質感の違いや鮮やかな色合いを知ることができる。一風変わったキャラクターたちの面白さや、思わず笑みがこぼれてしまう仕掛けなど、豊かなアイデアから紡がれる表現の魅力に迫る。

[日程]4月25日～7月5日

[会場]秋田市立千秋美術館

#### ●福島県南相馬市

南相馬市文化振興事業団

〒975-0008 南相馬市原町区本町2-28-1

Tel. 0244-26-5410 秋田

<https://yumehat.or.jp/>

#### スペシャルサロンコンサート

館野泉プレミアム・コンサート

～最高峰の音色が紡ぐ 至高のアンサンブル～

南相馬市民文化会館(ゆめはつと)名誉館長であり、今年90歳を迎える“左手のピアニスト”館野泉によるプレミアムコンサート。珠玉のピアノ・ソロに加え、「聞く人を幸せな気持ちにさせる」と自身が語るピアノと管楽器

のための委嘱作品『奔放なカプリッチョ』(パブロ・エスカンデ作曲)では、南相馬市出身の齋藤充(ユーフォニアム)を含む、国内トップクラスの管楽奏者7名と協演する。

[日程]6月21日

[会場]南相馬市民文化会館

### 関東

#### ●茨城県小美玉市

四季文化館みの～れ

〒319-0132 小美玉市部室1069

Tel. 0299-48-4466 細谷・君山

<https://minole.city.omitama.lg.jp/>

#### 光と風のステージCue vol.83

「シャンソン&ジャズ」

「光と風のステージCueプロジェクト」は、みの～れをライブハウスのようにおしゃれな空間に演出し、のんびりライブを楽しむのがコンセプト。みの～れに集う住民たちが構成されるプロジェクトメンバーが公演を制作している。5月は、茨城出身の中澤敦子や星野由美子ら6名のアーティストを迎え、シャンソンとジャズライブを開催する。

[日程]5月30日

[会場]四季文化館みの～れ

#### ●栃木県大田原市

那須野が原文化振興財団

〒324-0041 大田原市本町1-2703-6

Tel. 0287-24-0880 川崎

<https://www.nasu-hh.com/>

#### ふるさとの音楽家シリーズVol.45

「ムジカクオーレコンサート～姉妹デュオが奏でる6月の情景～」

田代直子(メゾ・ソプラノ)と佐藤秀佳(ピアノ)の姉妹デュオによるコンサート。ゲストに橋本由香(ソプラノ)、室越典功(フルート)を迎え、栃木県内在住のアーティストたちが季節に合わせた楽曲を演奏。竹田由彦の『あじさいの雨』やショパンの前奏曲『雨だれ』など、6月の情景を音

## ▼ 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

楽で表現する。

[日程] 6月6日

[会場] 那須野が原ハーモニーホール

### さいたま市

さいたま市文化振興事業団

〒339-0052 さいたま市岩槻区太田3-1-1

Tel. 048-756-5151 山口

<https://saitama-culture.jp/>

#### 雨の季節に聴きたい名曲コンサート

岩槻区出身の琴奏者・大平光美が結成したユニット「玉yu薇～tamayura」のコンサート。琴・笙の和楽器とヴィオラ・ヴィブラフォンの西洋楽器が融合したクロスオーバーユニットで、オリジナリティ溢れるサウンドが注目を集めている。雨にちなんだ楽曲を特集し、梅雨の時期を乗り切れるような、感情を揺さぶられる音体験をお届けする。

[日程] 6月28日

[会場] さいたま市民会館いわつき

### 千葉県浦安市

うらやす財団

〒279-0004 浦安市猫実1-1-2

Tel. 047-353-1121 堀田

<https://www.urayasu-zaidan.or.jp/urayasu-bunka/index.html>

#### 誰もが楽しめるバリアフリー演劇『Touch～孤独から愛へ～』

東京演劇集団風による、舞台手話通訳・字幕・音声ガイドなどの情報保障を取り入れた、誰もが一緒に楽しめるバリアフリー演劇。開演前にはサポート内容や舞台装置、出演者による役柄や衣装の紹介があるほか、開演前と終演後には舞台上で実際に衣装や舞台装置に触れることができる。ロビーでは地域の福祉施設利用者による展示も同時開催。

[日程] 6月6日

[会場] 浦安市文化会館

### 東京都調布市

調布市文化・コミュニティ振興財団

〒182-0026 調布市小島町2-47-1

Tel. 042-481-7611 田口

<https://chofumusicfestival.com/>

#### 調布国際音楽祭2026

2013年に「調布音楽祭」の名でスタートし、14回目を迎える今年は、「おいしい音楽、めしあがれ。」がテーマ。料理愛好家・平野レミを迎えるトーク&コンサートや、世界初演となる権代敦彦作曲のオペラ《ZEN》、「新しい音楽をつくる」作曲ワークショップなど、会期前のプレコンサートを含め延べ31の多彩なプログラムを市内各所で展開する。出演者のホームステイ先や学生ボランティアの募集など、さまざまな関わり方で音楽祭を楽しむことができる。

[日程] 6月20日～28日

[会場] 調布市グリーンホール、調布市文化会館たづくり、深大寺本堂ほか

### 横浜市ほか

KAAT神奈川芸術劇場

〒231-0023 横浜市中区山下町281

Tel. 045-633-6500 佐藤・足立

<https://www.kaat.jp>

#### A Raw Material & Vanishing Point Co-Production 『Love Beyond (Act of Remembrance)』

視覚的・身体的演劇を融合させた作品を創作するスコットランドの演劇アーティスト、ラメシュ・メイヤッパンの最新作。耳の聞こえないハリート、懸命に寄り添うが手話のわからないケアホームの看護師メイのすれ違いを軸に展開する物語を、劇団ヴェニシング・ポイントのマシュー・レントンが演出。自身もろう者であるラメシュも出演し、英国手話

を交えた上演となるが、日本語字幕はなく、観客は言語を超えたコミュニケーションを実感しながら鑑賞する。すべての客席で利用できる難聴支援(オーラキャスト)あり。東京ではラメシュによるデファクター向けのワークショップが開催される。

[日程・会場] 6月12日～14日: K AAT神奈川芸術劇場/6月16日: 東京芸術劇場(ワークショップのみ)/6月19日、20日: 高知県立美術館ホール



Photo by Tommy Ga-Ken-Wan

### 北陸・中部

#### 新潟市

新潟市音楽文化会館

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2

Tel. 025-224-5811 五十嵐

<https://www.ryutopia.or.jp/onbun/>

#### 新潟市音楽文化会館リニューアル記念公演 第2部「おんぶんセレブレーションコンサート」

大規模改修工事後の再オープンに先駆けて開催される記念公演。新潟市音楽文化会館を練習拠点としてきた社会人吹奏楽団と、これから利用予定の新潟ジュニアジャズオーケストラが出演。市の育成プログラムであるジュニア音楽教室の団員による楽器体験コーナーも実施。1977年の開館以来、定期利用制度などにより市民の文化活動を支えてきた会館の再開を言祝ぐ。

[日程] 6月14日

[会場] 新潟市音楽文化会館

### 富山県高岡市

高岡市美術館

〒933-0056 高岡市中川1-1-30

Tel. 0766-20-1177 寶田

<https://www.e-tam.info>

#### 重要無形文化財保持者認定記念 林 曉 漆藝展

富山大学芸術文化学部などで後進の指導・育成に尽力する高岡市在住の漆藝家・林曉の展覧会。2025年に重要無形文化財保持者(人間国宝)「髹漆(きゅうしつ)」に認定されたことを記念して開催。髹漆とは素地選び・下地・上塗・仕上げ工程に至る漆塗りの伝統技法の総称で、《朱塗脚付盤》などの近作を中心に展示する。

[日程] 5月23日～6月7日

[会場] 高岡市美術館

### 福井県あわら市

金津創作の森財団

〒919-0806 あわら市宮谷57-2-19

Tel. 0776-73-7800 千葉

<https://sosaku.jp/>

#### アートドキュメント2026

##### 久保寛子展 青の太陽 緑の月

先史芸術や民族・民俗芸術、文化人類学などにまつわる学説のリサーチをベースに、ブルーシートや農業用ネット、鉄などの工業製品を用いて作品を制作する彫刻家・久保寛子の個展。これまでの代表作をはじめ、新たな素材を用いた新作シリーズを多数展示。また、あわら市に残る歴史や民話を手がかりに、森の自然と呼応する野外作品も新たに制作した。

[日程] 4月25日～6月14日

[会場] 金津創作の森美術館



野外展示の様子 撮影:浅野聖一

## ●岐阜県岐阜市

岐阜県美術館

〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22

Tel. 058-271-1313 西山

<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>

### 一モンスーンに吹かれたように一 大移動と交流のアフリカ-アジアの現代美術

織田信長の家臣に現在のモザンビーク出身とされる弥助の存在が記録されていたように、古くから季節風に乗って交流のあったアフリカとアジア。その交流・移動に着目した企画展。かつてからの交流の証として江戸時代初期の屏風や、アフリカ-アジアの現代作家を紹介する。自らのアイデンティティや人類の創造性の豊かさをとらえ直す機会に出会うことができる。

[日程] 3月13日～6月14日

[会場] 岐阜県美術館

## 近畿

## ●滋賀県大津市

滋賀県立美術館

〒520-2122 大津市瀬田南大

萱町1740-1

Tel. 077-543-2111 平田

<https://www.shigamuseum.jp/>

### ためして、みる展 さわって 照らして ねそべて!? アートを楽しむ10のトライ

絵画や彫刻などの美術作品を、畳の上に寝そべて見る、双眼鏡や単眼鏡を使って見る、真っ暗な部屋の中で懐中電灯で照らして見るなど、全10個の“トライ”を通して鑑賞できる展覧会。小さな子どもから大人まで楽しめる構成で、身体を動かしたりしゃべったりしながらアートを楽しむ体験を提案する。

[日程] 4月17日～6月21日

[会場] 滋賀県立美術館

## ●大阪府高槻市

高槻市文化スポーツ振興事業団

〒569-0077 高槻市野見町6-8

Tel. 072-671-1062 大倉

<https://www.takatsuki-bsj.jp/tat/>

### 高槻de演劇2026 盛夏のプログラム

前身の高槻現代劇場時代から10年以上にわたって取り組んでいる市民劇のフェスティバル「高槻de演劇」。50歳以上を構成員として高槻を拠点に活動する「高槻シニア劇団 千年団」による新作と、昨年と同イベントで制作・展示された舞台美術家・竹内良亮の舞台美術を使用して上演することを条件に、公募で選出された「くによし組」の2団体の作品を上演する。

[日程] 7月4日～12日

[会場] 高槻城公園芸術文化劇場、サンユレックホール

## ●大阪府能勢町

浄るりシアター

〒563-0341 豊能郡能勢町宿

野30

Tel. 072-734-3241 仲

<https://www.jyoruri.jp/>

### 2026年6月能勢浄るり月間

#### 能勢人形浄瑠璃鹿角座公演

200年の歴史ある「能勢の浄瑠璃」を地域の財産として守り、次世代へ発展させるために、1998年に人形・囃子を加えた「能勢人形浄瑠璃」がデビュー。2006年に劇団化され誕生した「鹿角座」は、幅広い年齢の地域住民で構成され、今年旗揚げ20周年を迎える。『能勢三番叟』とこども浄瑠璃による『鬼一法眼三略巻』、名作『絵本太功記』の3演目を上演。6月7日には、「能勢の素浄瑠璃」公演も開催される。

[日程] 6月27日、28日

[会場] 浄るりシアター

## ●兵庫県川西市

川西市文化・スポーツ振興財団

〒666-0015 川西市小花2-7-2

Tel. 072-740-1117 瀬藤

<https://www.kawanishi-bunka-sports.com/bunka/index.html>

### 開館30周年記念事業 川西こころ街シリーズ「川西市伝統芸能まつり」

市内の活動団体やゆかりのアーティストを紹介する「川西こころ街シリーズ」。今回は開館30周年を記念し、これまでも節目ごとにタッグを組んできた文化協会とともに伝統芸能まつりを開催する。地域文化を支える三曲、詩吟、舞踊、民謡の実演団体が受け継いできた音や舞の世界を披露するほか、フィナーレの「黒田節～名槍日本号」では4団体が共演し、開館記念日を祝う。

[日程] 6月7日

[会場] 川西市みつなかホール

## 中国・四国

## ●鳥取県倉吉市

鳥取県文化振興財団・とりアート事務局

〒680-0017 鳥取市尚徳町101-5

Tel. 0857-21-8700 (案内番号3) 蔵内

<https://tottori-caf.or.jp/>

### 和っとなわくわく! とっとり郷土 芸能&能楽フェスティバル2026

鳥取県総合芸術文化祭「とりアート」との連携企画として開催。史跡大御堂廃寺跡に特設ステージを設け、この地で出土した「鬼瓦」をモチーフに倉吉博物館の協力も得て創作した新作品『伯耆鬼瓦 大御堂の地を清らかに護る』を「とっとり郷土芸能フェスティバル」との2部構成で上演する。当日はあらすじのわかる漫画も配布予定。同日にはダンスステージや食のパラダイスフェスタも開催される。

[日程] 6月13日

[会場] 史跡大御堂廃寺跡歴史公園屋外特設ステージ

(雨天: エースパック未来中心)

## ●島根県松江市

島根県立美術館

〒690-0049 松江市袖師町1-5

Tel. 0852-55-4700 柳原

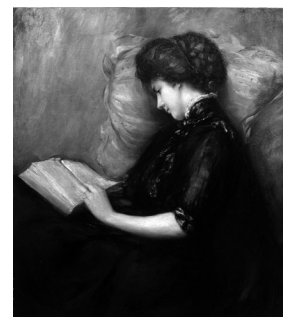
<https://www.shimane-art-museum.jp/>

### 島根から世界へー 生誕150年 石橋和訓展

島根県出身の画家・石橋和訓(1876～1928)の生誕150周年を記念した、公立美術館では初となる大規模な回顧展。明治期に英国に渡り、西欧伝統の絵画技法を身につけた一方で、日本では滝和亭らに師事。帰国後は、犬養毅や渋沢栄一など政財界要人の肖像画を多数制作し、国内外で活躍した。英国の洗練された油彩技法と、日本画の繊細さが融合した石橋独自の世界観を概観する。

[日程] 3月6日～6月8日

[会場] 島根県立美術館



石橋和訓《美人読詩》(1906年/島根県立美術館蔵)

## ●広島県三次市

奥田元宋・小由女美術館

〒728-0023 三次市東酒屋町

10453-6

Tel. 0824-65-0010 松原

<https://www.genso-sayume.jp/>

### 開館20周年記念「奥田元宋展 一縁の作家たちとともに」

戦後の日本画壇を牽引した奥田元宋(1912～2003)の初期から晩年までの画業を振り返る。師の児玉希望や児玉の師である川合玉堂のほか、元宋と交友の深い作家らの作品も紹介し、日本画における風景画の変遷をたどる。また、人形作家の妻・奥田

## ▼ 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

小由女も文化勲章を受章しており、史上初の夫妻それぞれでの受賞に繋がった、響きあう夫妻の創作の軌跡を、代表作とともに紹介する。

[日程] 4月23日～6月21日  
[会場] 奥田元宋・小由女美術館

### ● 広島県廿日市市

廿日市市芸術文化振興事業団  
〒738-0023 廿日市市下平良1-11-1

Tel. 0829-20-0111 山田  
<https://www.hatsukaichi-csa.net/>

#### はつかいち室内合奏団 “SA・KU・RA”演奏会2026

地域に根ざした演奏活動を展開するプロ・アンサンブル「はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”」の定期演奏会。同合奏団のミュージックアドバイザーで広島出身の長原幸太が指揮・ヴァイオリンを務める。弦楽合奏でのベートーヴェン『運命』をはじめ、モーツァルトのディベルティメント、ハイドンのヴァイオリン協奏曲などを、精巧な演奏とアレンジにより披露する。

[日程] 7月4日  
[会場] はつかいち文化ホール  
ウッドワンさくらびあ

### ● 山口県長門市

長門市文化振興財団  
〒759-4106 長門市仙崎10818-1

Tel. 0837-26-6001 柿並  
<https://www.renaissance-nagato.jp/>

#### 長門文楽

古典芸能の専門機能を有するルネッサながとで、長門市生まれとされる近松門左衛門作の『姫山姥』廓嚙の段を上演する。本作は能『山姥』を題材としつつ、源頼光と家来たちの世界を描いたもの。解説やトークセッションも交えた3部構成で、初心者も楽しめる内容となっている。温泉宿泊をセットにした「湯ったり

観劇プラン」もあり、長門の魅力を満喫できる。

[日程] 6月28日  
[会場] 山口県民芸術文化ホール  
ながと

### ● 徳島県徳島市

徳島県立近代美術館  
〒770-8070 徳島市八万町向寺山(文化の森総合公園内)  
Tel. 088-668-1088 久米・竹内  
<https://art.bunmori.tokushima.jp>

#### 生誕100年 吹田文明の人生で たどる版画100年のドラマ

徳島県出身の版画家・吹田文明(1926～)の生誕100年を記念し、同館では20年ぶりとなる大規模な展覧会を開催。所蔵作品を中心に、波乱に満ちた作家の人生と、変容し続ける表現の軌跡を振り返る。また、版画の魅力は今に伝える制作グループ「徳島版画」と協働したワークショップや、星や花火をモチーフにした作品を夜にじっくり鑑賞できる特別夜間開館などさまざまな関連企画も開催。

[日程] 4月25日～6月28日  
[会場] 徳島県立近代美術館

### ● 香川県丸亀市

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館  
〒763-0022 丸亀市浜町80-1  
Tel. 0877-24-7755 古野  
<https://www.mimoca.jp/>

#### 上野駅と猪熊弦一郎の《自由》

JR上野駅の中央改札には、香川県出身の画家・猪熊弦一郎(1902～93)によって描かれた大壁画《自由》(1951)が掲げられている。当時は戦後間もなく、物資不足で適した材料で制作できず、駅は開かれた環境であり傷みやすかった。2025年に始まった3度目の修復では、壁画前の「『自由』を修復しています」という横断幕がSNSで話題に。壁画の成り立ちから現在までを紹介する。

[日程] 3月1日～6月28日  
[会場] 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館



修復が終わりお披露目された直後の壁画《自由》撮影:木奥恵三(2026年3月)

### 九州・沖縄

#### ● 長崎県長崎市

長崎県美術館  
〒850-0862 長崎市出島町2-1  
Tel. 095-833-2110 森園  
<https://www.nagasaki-museum.jp/>

#### 長崎県名誉県民 富永直樹／松尾敏男

ともに長崎市出身で、長崎県名誉県民の称号を受けた彫刻家・富永直樹(1913～2006)と日本画家・松尾敏男(1926～2016)。戦後大きく変革する美術界において頭角を現し、生涯を通じてそれぞれの分野を牽引する活躍をみせた二人の芸術家の軌跡を作品とともに紹介。富永の作品《タロ・ジロの像》は、直接触れて鑑賞することができる。

[日程] 4月23日～6月28日  
[会場] 長崎県美術館

#### ● 熊本県宇城市

宇城市不知火美術館  
〒869-0552 宇城市不知火町高良2352  
Tel. 0964-32-6222 藤田  
<https://www.museum-library-uki.jp/museum/>

#### 漆にみる宙 井川健・下條華子 —2人の漆作家と宙漆プロジェクト

日本文化の根幹を成す素材のひとつであり、約9千年の歴史をもつ漆芸の企画展。それぞれ異なる漆の形を導き出してきた、実力派漆作家の井川健と下條華

子の作品を熊本で初めて公開。また、スペースパルーンで漆作品を成層圏へ送り出し、「漆作品を介して宇宙を体感する」という挑戦を成功させた美術系・工学系の大学生らによる「宙漆プロジェクト」の全貌も紹介する。

[日程] 4月9日～6月9日  
[会場] 宇城市不知火美術館

#### ● 宮崎県宮崎市

宮崎県立美術館  
〒880-0031 宮崎市船塚3-210(県総合文化公園内)  
Tel. 0985-20-3792 黒木  
<https://www.miyazaki-archive.jp/bijutsu/>

#### おさんぽツアー feat.芸術劇場

美術館を“おさんぽ”するように、おしゃべりしながら作品や裏側を巡る人気ツアー。昨年度大好評につき、今年も県立美術館と芸術劇場のスペシャルコラボを開催。宮崎県出身の画家・瑛九の作品《田園B》を鑑賞した後、その一部を再現した劇場綴帳を実際に客席から見ることができる。一人での参加も大歓迎で、普段は見られない美術館・芸術劇場の裏側を楽しめる。  
[日程] 6月21日  
[会場] 宮崎県立美術館、メディアキット県民文化センター

#### 夏休み子ども企画/ フェスティバル情報 求む!

7月号(6月25日発行予定)では恒例の「夏休み子ども企画/フェスティバル特集」を予定しています。下記までどしどし情報をお寄せください。

Tel. 03-5573-4093  
Fax. 03-5573-4060  
letter@jafra.or.jp  
締め切り: 6月2日(火)

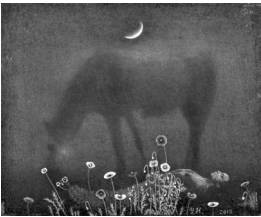
## ▼— 今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げてレポートします

### 熊本市

#### 熊本市現代美術館

## 「秀島由己男展 ダークファンタジー/ ミステリアス 水俣が 生んだ異才」



上: 会場風景。パナーに使われたのは若き日の秀島が自らモデルとして帽子を被った写真。図録やポスターのデザインは和木町に地域おこし協力隊として移住したデザイナーの皆川博子が担当した

下: 秀島由己男「霧の中の馬」(未完)  
(1970～2010年代/22.0×27.2cm/ミクストメディア/和木町蔵) 撮影: 宮井正樹

● 秀島由己男展 ダークファンタジー/ミステリアス 水俣が生んだ異才

[会期] 2026年4月18日～6月21日  
[会場] 熊本市現代美術館 ギャラリーI・II  
[主催] 秀島由己男展実行委員会(熊本市、公益財団法人熊本市美術文化振興財団、RKK熊本放送)、熊本日日新聞社  
[特別協力] 和木町

● 秀島由己男(1934-2018)

水俣市の貧しい家庭に生まれ、両親を早くに亡くす。ほぼ独学で絵画制作を始め、美術評論家の土方定一、洋画家の海老原喜之助、版画家の浜田知明、歌人の安永路子、詩人の高橋睦郎、小説家の石牟礼道子らに認められ、国際展にも出品。1984年から東京・新宿の旧瀧口修造邸に転居するが、東京の生活に馴染めず87年に熊本県山鹿市に転居。92年に三加和町(現和木町)に転居。98年と99年には町で展覧会が開催され、秀島は75点を寄贈、町も101点を購入したがその後は町内で展示機会はなかった。

2000年に熊本県立美術館で大規模個展「魂の詩—秀島由己男展」を開催。本展は四半世紀ぶりの大回顧展である。25年に熊本県近代文化功労者として顕彰され、26年には和木町から町民栄誉賞が贈られた。

2018年10月に急逝した水俣市出身の画家で版画家の秀島由己男(1934年生まれ)を取り上げた大回顧展「秀島由己男展 ダークファンタジー/ミステリアス 水俣が生んだ異才」が熊本市現代美術館の企画で実現した。秀島は戦後日本版畫の重要作家のひとりであり、石牟礼道子の多くの著作の挿絵でも知られている。

近親者のいない一人暮らしで、多くの作品・資料が最期の居住地となった人口9,000人に満たない小さな和木町(熊本県玉名郡)の自宅に遺されたままとなった。今回の展覧会は、その遺品整理を代行し、寄贈を受けた和木町が熊本市現代美術館とともに5年にわたる調査を行った成果として水俣病公式確認70周年に合わせて開催されたものだ。

地域ゆかりの作家が遺した作品等を誰が引き受け、どのように価値や意義を後世に伝えていくのか。本展は、そのひとつの好例と言える。

展示は、ほぼ独学で制作を始めた青年期の絵画作品から始まり、エッチングやメゾチントなどの銅版画技法を習得し、深い闇の中から精緻なモチーフが浮かび上がる独自の表現を確立した壮年期の作品へと展開。後半は、2000年代から最晩年までの写真を切り貼りしたコラージュなどの実験的な作品、未発表・未完成作品などに加え、今回の調査で新たに発見された多くの写真(秀島が自ら撮影指示した版画作品をつくるための物撮りやポートレート)と完成した版画・原版を並べて展示。また、創作の参考のために収集していたピアズリーの版画なども展示され、生涯を通じて新しい表現に挑み続けた秀島の全体像が丁寧な調査の結果とともに伝わる構成となっていた。

出品された約260点の作品・資料のほとんどが和木町の所蔵で、これらを含め作品約1,500点、原画約300点などが遺されていたという。92年から元農家をアトリエ兼自宅にして暮らしていた秀島は町民をモデルとして作品を制作するなど親しく交流していた。急逝を知った知人から遺品を心配する声が上がったが、遺族の許可なく持ち出すことはできない。ようやく遠方の

遺族と連絡がつき、許可を受けることができた。

美術館のない和木町で今回の調査を担ったのが、普段は古墳調査などを専門にしている教育委員会社会教育課文化係の西山真美さんだ。「何が何だかわからないまま、梅雨前に運び出さなければと、役場の職員が総出で取りかかりました。タンスや仏壇の引き出しからも作品や資料がどんどん出てきて、何を残し、何を処分するのかをその場で判断しなければならなかった」と振り返る。

公民館の3室を埋める物品を前に途方にくれた西山さんが熊本県文化財保護審議会の前川清一委員を介して出会ったのが、熊本市現代美術館主幹兼主査学芸員の富澤治子さんだった。「晩年の秀島さんは当館の展覧会によく来てくださった。88歳になる2022年に回顧展を計画していたので本当にショックでした。和木町が遺品を預かったと聞き、お手伝いできればと思ってお声がけしました」。ミュージアムIPM(総合的有害生物管理)の有資格者でもある富澤さんは和木町から正式な派遣依頼を受け、年5～6回町を訪問。作品調査と保存環境整備を指導する体制が整えられた。

予算も人手もないなか、遮光カーテンを設置し、床にすのこを敷いて通気を確保するという基礎的な環境整備から着手。富澤さんから指導を受けながら、西山さんたちは1点ずつ作品を取り出して清掃し、管理番号を付与し、調査台帳に記録し、撮影し、薄葉紙に包む、という地道な作業を繰り返していった。限られた時間と人員で通常業務の合間で作業したこともあり、全容の把握までに5年を要した。その間、町内や近隣市で展示活動も行い、秀島作品が和木町にある意義を知らせていった。そして25年度には、遺族から正式に和木町に遺品が寄贈された。

現在も仮の保管場所に収蔵されたままで展示施設などの計画は定まっていない。だが、本展を訪れた関係者の中で秀島作品への認識と評価は高まりつつあり、秀島版画賞の創設も検討されている。小さな自治体と美術館の連携によって守られた地域文化資源の行末を見守りたい。(アートジャーナリスト・山下里加)